



旭医大卒後、北大第一内科に入局。COPD発症における個体差とその機序に関する研究を進める課程で病理

悪性中皮腫のCRK研究

北大腫瘍病理学分野

に携わり、「呼吸器を中心とした病理をもつと勉強したい」と、現教室の門を叩いた。現在は、主に悪性胸膜中皮腫、特発性間質性肺炎を研究する。悪性胸膜中皮腫におけるシグナル伝達アダプター分子「CRK」の関与を解析し、ことし日

谷野 美智枝 助教

本呼吸器学会で発表。予後が悪い同疾患に対し「効果的な治療法に結びつく研究をこれからも進めたい」。

昨年、エーラスダンロス症候群の肺病変を集め検討した東京びまん性肺疾患研究会に参加。特に重症とされるタイプⅢコラーゲン異常による肺出血症例を報告するなど、研究に励む。